

【綾川町】
校務ＤＸ計画

１．校務ＤＸを推進する上での現状と課題

「ＧＩＧＡスクール構想の下での校務ＤＸ化チェックリスト」による自己点検の結果、授業研究会や校外研修などは、コロナ禍における取組みとしてオンライン化が積極的に行われたこともあり、クラウドツールの活用が浸透しつつある。一方で、職員会議や職員への周知、保護者との連絡手段のデジタル化等については、学校により進捗に差がある。

２．校務ＤＸを推進するための課題解決策

各校へ導入済の大型ディスプレイや、保護者への連絡手段としてのメール配信システムについて、先進校の取組を共有するなどして活用の推進に努め、行事予定表や連絡用紙等の削減を図る。あわせて、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因となっている、ＦＡＸでのやり取り・押印の見直し等を進める。

また、専門的な手入力作業等については、各校に配置しているＩＣＴ支援員に業務改善策を提案いただくなどして、教職員の負担軽減を図っていく。

３．次世代校務ＤＸ環境の整備について

令和５年３月に文部科学省が取りまとめた「ＧＩＧＡスクール構想の下での校務ＤＸについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務ＤＸ」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務ＤＸの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、県及び県内他市町教育委員会等とも連携しながら、検討を深める。